



道内の22信用金庫においては、5千人の役職員が働いており、そのうち女性はおよそ35%を占めています。

なかには、女性の割合が5割に達する信用金庫もあり、大きな戦力となっています。

人口減少等の社会環境や金融業界の経営環境には大変厳しいものがありますが、いずれの信用金庫にとりましても「人」は経営上、最も大切にしなければならないものです。

信用金庫は地域と運命共同体などと言われますが、地域の発展なくして我々の発展もありません。

男女を問わず地域を知り尽くした職員が地域に密着してお取引先の発展に全力を尽くし、お客様の信頼に応えていかなければならないと考えています。

一般社団法人北海道信用金庫協会
会長 増田雅俊（稚内信用金庫理事長）

道内の信用金庫におきましても女性の管理職は増加傾向にあり、また、職域の拡大など、女性の育成・登用が着実に進み、職場における女性の活躍には目を見張るものがあります。

これは、産休、育休等の制度の活用が進んでいるほか、勤務地や職種を限定した制度を設計し、雇用継続の選択肢を拡げていることなどが奏功していると考えられます。

また、結婚や出産等で一度退職しても再度採用する取り組みのほか、結婚、配偶者の転勤、親の介護等やむを得ない理由によって退職する職員が転居先に所在する信用金庫で就業を希望する場合には、これを支援する「しんきん再就職支援ネットワーク」が全国の信用金庫の相互協力のもとで、平成27年9月から展開され、着実に実績も上がっています。

職員の働く意志を尊重し、信用金庫でのキャリア継続を図ることで、知識、経験、ノウハウを活用することができます。

人材の有効活用とともに、今後ますます女性の活躍が期待されるところです。

一般社団法人北海道信用金庫協会について

当協会は、道内にある22信用金庫を会員とする一般社団法人です。

道内信用金庫の健全な発展を図り、もって公共の利益の増進に寄与することを目的として、

- ・会員と関係官庁等との連絡調整
- ・教育研修事業
- ・信用金庫の発展や業務の改善に関する調査・研究等を行っています。

また、身近なところでは、札幌ドームの左中間フェンスの広告を目にしたことがあるのではないのでしょうか。これも、加盟金庫合同の広告として当協会において、掲出しているものです。